

やまがら



毎年、冬には自宅に来てくれます。

2020年
新春号
No.37

松山市議会議員
梶原ときよし

一人ひとりが大切にされる 人間尊重社会を実現しよう。

- 官民癒着や税金の無駄遣いをやめさせ、高い市民負担を軽減させよう！
- 教育と子育て予算を増額し、医療・介護・福祉を充実させる市政に転換させよう。
- 電車・バス・フェリーのシルバーパスを実施して元気な高齢者が活躍する街にしよう。
- 伊方原発をやめて、自然エネルギーへの転換を促進しよう。(PPS電力の利用促進)
- 命、人権、環境、平和を大切にし、子どもたちに安心未来を引き継ごう。



発行・梶原ときよし

安倍政権の国政

森友・加計・花見の会・カジノIR 政治と税金を私物化する安倍自公政権

- 消費税を10%にした上で、更に75歳以上の高齢者医療費負担が2倍!!へ(22年から2割負担へ。)

野志市長の松山市政

- 渋滞しない踏切「渋滞解消」のためとしてJR高架橋500億円の無駄使い(松山市民の負担は100億円)
- 最初から見通しのない西条分水(既に10億円以上、人件費等で浪費)
- 東京在住者等による私的な会である松山愛郷会(30年で9,000万円。税金で飲み食いを今も継続)

松山市民の税金を私物化配分する野志市政

- 低所得者の国保料金を、今年(2020年)4月から50%も引き上げる。

ネットワーク市民の窓の梶原時義でござります。私は今議会に提案されている議案の一部に反対し反対の討論を行います。反対する議案は、
○議案第1-105号 (行政責任放棄議案)
道後保育園と中須賀保育園の民間運営委託
義務教育と同様に本来行政が責任を持つべき幼稚教育を、利潤追求の対象として民間企業に差し出すものともいえる。
○議案第1-106号 (市民負担増加議案)
国民健康保険システム改修業務委託
低所得者の保険料負担を50%も引き上げるという、やつてはならないシステム改修。
○議案第1-120号 (税金の無駄遣い議案)
松山市事務分掌条例の一部改正について
経費削減に逆行する、高額所得者の新しい部長を二人も増やし、市政私物化事業ともどれる。

○議案第1-21号 (今回は見送るべき議案)
特別職の職員で常勤のものの給与に関する条例及び松山市公営企業管理者の給与等に關する条例の一部改正について
○議案第1-22号 (マイナーバー強制議案)
松山市個人番号の利用等に関する条例の一部改正について
市民の望まない番号法を強制して行政の市民管理と税金の無駄遣いを日常化させる。
○議案第1-31号 (今回は見送るべき議案)
市議会議員等報酬・期末手当及び費用弁償
条例の一部改正について

2019年12月議会
一般質問
梶原ときよし
2019年12月9日

ネットワーク市民の窓の梶原時義でござります。1989年天下の悪税といわれる消費税が3%で始まって30年。どうどう消費税が10%になってしましました。福祉目的と謳って庶民から吸い上げた皿税をほとんど福祉には使わず、高額所得者への減税や法人税減税に転嫁させたために、大企業の内部留保は500兆円を突破しました。その能力に關係なく全ての国民から吸い上げた消費税を大企業や富裕層にばらまいていることは明らかです。

ネットワーク市民の窓の梶原時義でござります。1989年天下の悪税といわれる消費税が3%で始まって30年。どうどう消費税が10%になってしましました。福祉目的と謳って庶民から吸い上げた皿税をほとんど福祉には使わず、高額所得者への減税や法人税減税に転嫁させたために、大企業の内部留保は500兆円を突破しました。そこから見ても、赤ちゃんから高齢者まで、その能力に關係なく全ての国民から吸い上げた消費税を大企業や富裕層にばらまいていることは明らかです。

私がどうしても許せないのが、野志市長が何の躊躇もなく、平氣で出してきた、低所得者の国民健康保険料を、50%も大幅に引き上げるという議案です。本当に誰を見て、どこを見て政治を行っているのでしょうか。あつてはならないことですが、野志市長が50%も引き上げるという議案です。本当に誰を見て、どこを見て政治を行っているのでしょうか。項目は以上ですが、

口議案第1-23号 (経済的弱者いじめ議案)
松山市国民健康保険条例の一部改正について
天下の庶民いじめである消費税の上を引き、本市市民の国民健康保険料を、何ど50%も引き上げるという経済的弱者いじめでしかない鬼のような議案である。

私がどうしても許せないのが、野志市長が何の躊躇もなく、平氣で出してきた、低所得者の国民健康保険料を、50%も大幅に引き上げるという議案です。本当に誰を見て、どこを見て政治を行っているのでしょうか。あつてはならないことですが、野志市長が50%も引き上げるという議案です。本当に誰を見て、どこを見て政治を行っているのでしょうか。項目は以上ですが、

野志市長の口癖である「一人でも多くの人が、ながら税金の無駄遣いを謳歌する野志市長の周りの人達には、笑顔の渦が絶えないことは、苦しい市民は所謂「笑顔」の対象ではなさそうです。年収1000万円以上の部長に囲まれ、また新たな部長を増やす、理事者の機嫌を取り、いう抽象的スローガンが示す通り、国保料で容易に想像できますが、今、市長がやるべきことば、消費も医療も身も心も削りながら苦しい生活に耐えている人をなぞしていく努力。これこそが、あなたたち執行部に求められていてことだと肝に銘じなければならぬと、私は思います。

野志市長の口癖である「一人でも多くの人が、ながら税金の無駄遣いを謳歌する野志市長の周りの人達には、笑顔の渦が絶えないことは、苦しい市民は所謂「笑

